家庭

一般にわかり易い　育兒の心得（三）
=關東局保健所談=

離乳法

離乳は七八ヶ月頃から

人乳は乳兒にとつて完全な榮養物でありますが、長く人乳ばかりで養ふ時は乳兒の發育に障碍を來し又貧血を起しまして蒼白い子供になります、これは大きな乳兒にとつて榮養物が不足して來る爲です、即ちこの不足の榮養物は主に鐵燐石灰銅等で其他ヴイタミンなども欠乏してゐますこの樣な大切な榮養物の不足を補ふ爲に乳兒が大きくなるにつれて段々乳汁から普通食に移行するのであります

離乳はあせらずゆつくり

滿一ヶ年半頃で略普通食に移行しませう

離乳は決して急いではいけません。別紙にある樣に消化し易いものから段々馴らして行きます。もし下痢する樣な事があれば一時中止して下痢の止まるのを待つて又始めます離乳は非常に面倒な仕事ですから母親は細心の注意を以て根氣よくやらねばなりません

二週に一度は體重を測りませう

離乳期は乳兒幼兒にとつて發育上大切な時ですから二週に一度は体重を測つて現在行つてゐる離乳法がその子供に適合してゐるかどうかを見る事が必要であります。いくら規則正しくやつてゐても体重が減少する事があります。その時はその子供に適合する樣な離乳法をとらなければなりません。それを決定するのは体重測定が最も重要です

離乳期食餌法

長い間同じものばかり與へてゐると乳兒も倦きが來るから種々季節に應じて品を換へるは勿論、同一の品でも、味形、色等も變へて與へる必要があります

斯くして生後十三ヶ月頃になると日に牛乳一合、普通食三回、夜間のみ母乳を一回與へる。その後二—三ヶ月の間に夜間の母乳も全くなくして、略離乳を完了するのであります

與へてよき食物の作り方

重湯・元來は白米グリース、碎き米、已を得ない時は白米を使用する。重湯末は使用に便利であります。尚重湯の作り方詳細は健康乳兒人工榮養法の所を御覽下さい

野菜スープ・ホーレン草、大根、白菜などザッと煮沸しあくを抜き約十分煮てガーゼで漉し醬油で味をつける

バタ付パン・食パンを薄く切り輕へ燒いて之にバタを付けて與へる、バタの嫌な子はイチゴジャムでも付けてやる

おまじり・水と米を重湯を作る時の割合に入れて攪 してそのまゝやる。尚詳細は健康乳兒人工榮養法の所を御覽下さい

乳粥・おまじりの米粒だけを三茶匙とり之に牛乳一〇〇—一五〇角砂糖一—二個入れます

オロシ林檎・林檎の皮と種子とを除き大根オロシでおろしそのまゝ與へる。ホーレン草裏漉・ホーレン草を充分煮て之をすりばちでよくすり後裏漉するのであります、其の他甘藷ジャガ芋裏漉も同樣の方法で作る

煮魚肉・軟かい魚肉の白味をよく煮てすりばちでよくすり後味を付けて與へます

◇少年團大野營場の齋藤總裁

少年團大野營は東村山に於て全國四千餘名の健兒參加のもとに盛大に行はれて居るが齋藤總裁は去る二日午後三時場内の總裁推戴式に臨んだ後各キヤムプ場を巡視した

カウルレテヤラナケ
リヤア駄目ダ！
コンナヤ
カマシイ
チハ。

ヱ、サウデス赤チヤンガ
アンマリ泣キマ
スカラ ブッチヤ
ッタラオトナ
シクナリマ
シタ。

ドウシマシヨウ、坊ヤガブタレタノヨ。

ドウシヨウ！

ヨロシイ、オレガコラシメテヤルゾ！

元氣一杯の團体生活　「聚落地兒童だより」

室町校　望小山は高い　渤海灣が見える！

ねどこから起き上つた、とてもよいお天氣だ、外へ出て空を見た、お日樣がかがやいてゐる、涼しい風が山の方から吹いてくるみなうれしさうにむぎ茶を水筒に入れてゐる、用意が出來ていよ／＼出發した望小山が見えた、あんな高い所にのぼるのかと思ふと胸がわく／＼してきた、ふもとの近くまで來ると、ブドウが鈴なりになつてゐた「たべたいなあ」「おいしさうだなあ」と

前後 からきこえる、山のふもとまでくると林があつた、其の林をぬけていよ／＼望小山にかかつた、どうしてのぼるだらうかと思ひながら、前の山を見た、いよ／＼のぼるのだ、だん／＼がつけてあるけれど中々のぼれない、下をみると同じ樣な岩山がたくさんある。岩山と岩山の間には細い道がある、下をみただけでもぞつとする、こわくなつて空を見た、雲一つなく海のやうだ、もう頂上へ着いてゐる人もある、やうやく頂上へ着いた、其處には大きな塔がある、渤海も見えた、なんとよいけしきだらう、まるで繪の樣だ、こんどは外の方を見たそこは一面の畠だ、青い草がならんでゐる、所々にちがつた色のも出てゐる、綠色のもうせんの樣にみえるのは水田だ、黒ずんでみえるのはリンゴ園である、筒井先生はいつの間にかひくい所に下りてきれいな草をとつてゐる、「さあもう歸らう」先生の聲にみんな先きをあらそつて下りた、岩山を一歩一歩足をふみしめ／＼下りた、

無事 に下りる事が出來た、やれ／＼と思ふと一時に元氣がなくなつた、きつい足を引きづりながら廣いコウリヤン畠を通りぬけた、ホテルの屋根が見え出した、うしろをふりかへると、今のぼつた望小山か塔をのせたまま淋しさうに立つてゐた「あゝ私は今あんな高いところにのぼつたのかしら」と思つた、「もう一度のぼりたい」と言ふ心もちでそこを去つた、（四年堤美智子記）

白菊校　日滿兩國旗を飾り　とうろう流し

昨晩はとうろう流しでした、私達はごはんをいただいてからかうりやんでとうろうを作りました、私達はいかだを作るのにずゐぶん苦心致しました、二、三回もやりなほし致しました、清水先生は私達の方へ來ておしえて下さると、四年生の女の人は「先生こつちへ來てよね—」とあまへた聲でいひますと、やーい自分達で出來ぬものだから」と清水先生が惡口をおつしやつた、それから

お晝 ごはんをいただいて又やり始めました、いよ／＼出來上つたので「一番でせうね」といつて大いばりです、それからとうろうをながめてゐますと紙がはつてありませんのでびつくり致しましたそれから大いそぎでゐをかゝうと致しましたが何もよいかんがへがうかびませんのでこまつてゐますと丹野さんが「日の丸の旗がよいでせう」といひますと島さんが「滿洲國の國旗と日の丸の旗がよいでせう」といひましたのでさつそくゐをかきました、

丹野 さんは古はしに圖書用紙をきつて日の丸を糊ではりつけてとうろうの先の方につけて流しますとすぐ自分達のだといふことがわかりました、それは滿洲國の國旗がついてあり前の方には日の丸をつけてゐるからです、それを一心に見つめてゐますと一度にパン／＼／＼と赤色、綠色、水色の花火が鳴るとすぐにカラン／＼／＼／＼とねる時のかねがなりましたので大いそぎでねました（高杉とわ記）

怖ろしい……脚……氣　「白米食の惡習は」こうして改良なさい

内務省統計局の最近の調査に依ると、我國内で、昭和六年には一萬七千七百六十七人同七年一萬一千八百五人も脚氣で死んでゐる、毎年

脚氣に罹る ものは、我が國内で何百萬人あるか知れない、近時ヴイタミンBは獨り脚氣を豫防する許りでなく、身体の榮養や發育を促進して、我が人類の發育や健康を維持增進する故力のあることが分つた、然るに此の大切なヴイタミンBを糠として搗き取つた白米を從前通り平氣で食つて居る樣では健康の保持は勿論体格や体質の向上發展は中々望めない、國家非常時の今日、我々國民は先づ第一に、白米を主食とする習慣を改めて、ヴイタミンや種々の榮養素を白米より多量に有してゐる玄米か、半搗米か或は麥を食つて脚氣を豫防し其の上ご發育や

榮養や健康 の增進と、体格や体質の向上發展を計らねばならぬ、然るに世の中には、未だ習慣に捉はれて、惡いと知りつつ白米の食を止め得ない人等が仲々多い、又半搗米や麥は食べ難くて食へぬと云ふ人等も亦甚だ多いのである、之は以ての外で我々の祖先は皆玄米を食つて居たのである、食へない筈はない、斯んな人等は先づ最も食ひ易いしかもヴイタミンBや其の他の榮養素を比較的多く含んで居る

胚芽米から 食ひ慣して行けば、半搗米でも玄米でも食へる樣になるから、又半搗米や玄米は不消化であるから、白米の方が良いと云ふ人等がある、併しながら之は其の煮方と食ひ方（米國のフレツチヤア氏食ひ方）即ち咀んで咀んで充分に咀化し得るのである、抑々白米は、玄米を搗いて其表面に比較的多量に含まれて居る、大切な榮養素即ち蛋白質脂肪、鹽類等の大部分と貴重なヴイタミンのA、B、C、殊に糠として搗き去つた榮榮食價の低いものであるから、何時迄も習慣に捉はれずに改められんことを推奨する

學藝

挿繪畫家寸論

永吉正二

挿繪畫家論と云ふいかめしい、ごつい題名をかゝげたがかた苦るしい事を言ふのではない、著名な、皆さんのお馴染の挿繪畫家をとらへて、ちよつとばかり文句を言ふだけである、挿繪がどう云ふ地位を占めて文化的にどう云ふ動向をたどりつゝあるかを考究して見たら面白いと思ふが、こゝでは論じない

挿繪は現在の所大衆小説につきものであるので自然大衆的であらねばならないやうに考へられて居るが、盛裝、眞實一路、金の鍵の匣の作者と挿繪畫のコンビが程度が高くなつてゐるのは注意ちすべき事と思ふ

よく挿繪を論し挿繪畫家を論ずるとなると小村雪岱畫伯が大衆的でないと問題にする小村雪岱畫伯のよさが一般の人には分らないと言ふ

小村雪岱畫伯のよさは、にじむような情緒滋味な得も言はれぬ線と、墨の明朗さにある、墨の明朗さなど言ふと變にきこえるか知れないが同畫伯は、よく黒と白を鮮明にし對照をはつきりさせそこに天才的調和が出來てゐるので墨がとても効果的に出て、明るさ、ほのほのとした明朗さがするのを認める、私は畫伯の描く女の腰の線にほれぼれとする、線のきれいな事は小村畫伯が一番である、線と言ふと、線のあれて亂暴なのは齋藤五百枝であるが彼は非常に挿繪畫家として、手腕が上手でよく小説の氣分を出してゐるので、その缺點をおぎなつてはゐる

活場面をかくのはもつてこいである、彼は少年向の繪が上手である、佐藤紅緑が少年向きの小説が隨一である如く！サトーハチローがそう親ぢの肩をもつて居る！五百枝畫伯は少年向の挿繪が隨一である

田中比左良さんの線は亂暴にかきなぐつてある樣だが、如何にもなつかしみがある、同畫伯のかく女は千變萬化で女をかいては天下一品の稱あるが如く、筆のさえて、自信タップりな、余裕あるタッチがよくて感心させられる

木村莊八畫伯の線は獨特すぎてとつつきにくいが、簡素なタッチに光線の工合がうまく出るので、流石にうまいなと感嘆させられる、岩田專太郎の線は藝術的かほりがある須藤茂畫伯のペンの走りもよい

專太郎氏の畫には異樣な雰圍氣がたゞよふ、そこに彼のよさがある、彼の描く女は鼻筋が通つて明眸で、ひたひの形がよくて、唇に品がある、耳はがつちりしてゐるがふくよかである、全体の印象がとても凄いのである

岩田專太郎描く女に魅せられてゐる人は多い苦惱をへて人生を知りつくしたやうな表情がいゝのである、彼にはどうしても處女はかけない、處女をかくなら順藤茂畫伯だ田中良畫伯だ

挿繪畫家は女をきれいにかいた方が得である、それで嶺田弘畫伯は損をしてゐる彼の描く女は智的でない、戀人たり得るに適しない、岩田專太郎の時代物の挿畫はいゝ

林唯一畫伯はほれぼれする樣な女を描く事もあるが時にはまのぬけた樣な女をかく同畫伯の爲め惜しい、然し挿繪々家としての老練さは他の追隨を赦さぬものがある、筆が如何にも温順であるので唯一畫伯の畫を好んでゐるものは多い

ぎびきびして人のきれるのは小田とみや畫伯の筆であるその他の人のはようきれないとみや畫伯描く姐御は、ヨウエンである

石井鶴三畫伯の挿繪は尊敬に價する、富永謙太郎の女は影がうすい宮本三郎、伊藤顯畫伯達は獨特な筆致で面白い挿繪畫壇に彗星の如く表はれた小林秀恒は好運兒である、彼の描く女がいゝから人氣がある譯だ、順藤茂さん田中良さんの描く少女は好感がもてる、戀人として適してゐる、挿繪畫家は發展する、時代の波がそうさせる

短歌

泉芳雄

愛憎に疲れちぎれちぎれにむしつた青春人形とならんで冷たいサボテンがある

オンナの素足シットリ濡れて舗裝路窓のサボテンがぼんやりたゝずんでゐる黄昏

仰いだ窓澄み切つた蒼空フランス人形が淡々かげつてともしびがある

努めてふれまいとするお前の眞情一の愛想で遠い便りまた灰にしてやる

あの黒ずんだビルのかげに港がありさうな錯覺をたのしむはかなさにゐる

もつれるからまる衣づれの体臭冷たい星の下をよそゆきの顔で舗裝路の男女

青々しみ透つた若葉雨上りの舗道に馬車が來る洋裝の娘さんがニーヤとよんでゐる

（路上所見）

〔ブック・レヴュー〕 城臺正氏著 "現行滿洲帝國公文提要"

山口愼一

著者城臺正君は現在滿洲國司法部に職を奉ずる、私の同學の友である、この度滿洲行政學會から掲題の如き著書を公刊されその一本を贈られた、ここに謝意を表して紹介のペンを取るのだが、友人であるからと言つて私のペンに加減などはしてない積りである

×

凡そ中國語並びに中國文の研究にも幾つかの分野がある限りある精力を持つ人間としてすべての中國語、中國文に通ずることは至難の業である

就中、中國書簡文は優に一つの研究課題たり得るもの、それは中國人自身が然う感じてゐるところでさへある、城臺君の新著はまさにかかる方面を目指して素晴しい成功を示したものと言はねばならぬ

×

紙幅限りあり、一々その例を擧げて紹介する邉をここに有しないが、私は同書の最も根本的特長とするところを擧げてこれを大方に奬めたい、それは他の類書に到底見出せないところのものであるが、城臺君は先づ同書の全般に亘り、換言すれば公文といふものの全面に亘つて有機的な解說を施された、その最も光彩ある敍述は第五章「公文の構成」に於いてこれを見出すことが出來る、すなはち

文章に頭、腹、尾の法則あり絶句に起、承、轉、結の定法あり、其の一を缺かば首尾の一貫は期し難し公文亦然り

として以下詳細にこれを解說されてゐるのである、これだけを以てしても優に一つの研究的著作としてその獨立的存在を主張し得る資格を有するものと言ひ得るであらう

そのほか解釋篇の親切さは一頁一頁に溢るるばかりのものがある、引例のすべては實際に滿洲國で用ゐられたものであることも注意に値ひする附錄には公文程式令、其他が掲げてある

×

更に本書獨自のものとして「現行滿洲語公文用語表解」なる二枚の大表がある、それは現に用ゐられてゐる公文用語を種類と性質とに依り整然と分類作表したもので、これのみでも實用上に寄與するところ多大なものがあるであらう、同君が本表を作るのにどれだけの勞苦を拂はれただらうと思ひ、私は心からの敬意を拂はざるを得ぬものである

忙中、本稿甚だ蕪雜、著者の諒承を乞ふ次第である（四六判布裝、本文二一二頁、附錄二二頁、附表二枚、定價國幣二圓）

創作 惡夢（五）

今村榮治

或る時は何んとはなしに白らじらしい顔を朱美はする時もある、そんな時は久し振りに五味はひやゝかに自分を、また朱美をながめ、こんな不自然な生活を一日も速やかに清算しなければいけない、お互ひの魂はどこ一つ端も結ばれてゐないのだ、これから先も結ばれそうにもないと思ふのであるが、別れてしまふことを思ふとたんに、生れてはじめて識つた一人の女の肉のさゝやきに對する犯しがたい執着が胸を衝いて來て、五味は進んで朱美の乳房を探すのだつた

半年過ぎた、五味の感情は落ちついて醒つてゐた、願望も理想もいらないゆきあたりばつたりの女の囁きに己が肉体を思ひ切り痲痺させる事が人間の本當の生活のやうに思はれて來たからだらう……もつともそれは藻掻いてもくのがれ切れない永遠に課せられた苦しみのやうに思ひ諦めたせいかも知れない……しかしこんな女の情熱つていふものは決して長續きするものでない、半年が一つぱいだつた

四月ちよつと過ぎ、出し拔けに朱美から別れ話が出たのだ、豫期しなかつたことの、あまりの突然さに返へす言葉もなくおどおどしてゐる五味の顔を朱美はひやゝかにながめ傍の机の上に指で無意味な輪を描いたりしながら、

「あゝなつたのも、かうなるのもみんな緣ですわね」と彼女は何も彼も緣づくめにするのだつた

「何故急にそんな事になつたのだ！あゝなるのが緣だつたなら、かうはならないのが本當の緣ぢないか！いやだよ別れるなんて」

壘になつたやうな心をやうやく言葉に現はして吃り吃り言ふと

「でもあんたと私がかうしてこの生活をつゞけたところでお互ひが幸福になるとは思はないわ」

「それなら何故はじめつから……ぢや僕を弄ぶつもりで……」

「あの時はあの時、この時はこの時よ、弄ぶつもりなど少しもなかつたわ、あの時は本當にあんたが好きだつたんですもの、純で、初心で、人が善くつて、ふふ、だからあの時の私の心に噓はなかつたといへるわ」

「ぢや今の僕はとても穢れてるとでもいふのかね？」

「執拗いよ、この人」

「何人分の僞親を一人でするやうな眼だつた」「要するにどうでもいゝわ、そんなこと、私の虫のゐどころが變つたと、それだけ思へばいゝぢやないの」

「その虫のゐどころをどうか言つてくれ」

「もういゝの」五味の言葉を途中で抑へつけて、「男の泣き言はきゝたくもない」

「……」

「でもこれだけ耳に入れとくわ、私、もうせんからあんたみたいた青臭いひと、いやんなつちやつたの、あの杉山さんみたいに不貞腐れた底力がつくづく頼しくなつて來たわ、そこへ、あの人ときのふ街で出逢つて……紳な男に興味がなくなつたら何時でも僕んとこへ來い、僕は何時迄もお前が好きだ、とかうおつしやるんでせう、だから私、斷然、ゆかなきやならないわ、あの人今吉林で何か商賣してるの」

「……」

「かうなつた以上、こんな生活を何時迄も續けたつてつまんないわ、長びけば長びくだけ、それだけ私が不幸なばかり、私があんたつて譯ぢやないんだから」石になつたみたいな朱美の心を、その變化の激しいのに驚き、惡夢から浮び上がつたやうに忌々しくも思ふのであつたが、一方急に大海の眞中に一人取り殘されたやうな淋しさを禁じ得ないのであつた、朱美はその日の夕方五味の体中の水の最後の一滴を絞り取つて外出したまゝ、それつきり歸つて來なかつた、

潑溂、青年の意氣 煉獄の苦熱征服
滿鐵二千社員が西公園で きのふ夏祭の行事

滿鐵王國在京二千社員が潑溂たる意氣の下に苦熱を征服しやうといふ新京滿鐵社員聯合會主催の夏祭は炎熱灼くが如き十日午後四時から西公園海軍記念碑前で盛大に行はれたこの日定刻を待ちかねた社員一同それ／＼各分會旗を押立てゝ續々西公園へ繰込み、定刻前には早くも會場附近一帶を埋めつくす豪盛振りである參集者約二千名、まづ嚴肅裡に社旗掲揚、一同天地も割れよと高らかに社歌を合唱し、諫山修養部長起つて開會の辭を述べ、ついで武田聯合會長からそれ／＼分會旗を授與し引續き氏の熱と力に滿ち／＼た挨拶があり、競技に入つたがラヂオ体操、綱引、玉入競技、五十米リレー、ボートレース、水上ホッケーなどと炎天下の獨身者も妻帶者も苦熱を忘れてけふの半日を若々しい青年の意氣に返り大はしやぎ、かくて赤塚體育部長の閉會の辭あり、最後に萬歳を三唱して同六時ごろ散會した

夏夜の涼味を蒐むる 西公園花火大會
十五日地方事務所肝入りで

地方事務所の肝入りで酷暑に喘ぐ市民の慰安納涼の郷土踊りは十三、十四兩日西公園で催されるが引續いて十五日午後六時から西公園グランド下四地の原つぱで花火大會を大々的に開催する、當日は一時間半の間に仕掛花火四個、早揚げ四個、普通花火百發を通發し長春新京時代未だ且つてみない盛大な花火大會で觀覽者も四萬人の入園を豫想されてゐる、從つて當夜は公園入口の混雜が豫想され、市民は入園券を前もつて買ひ求め又當夜入園券買求には釣錢の入らぬ樣注意されたいと

衰微する見本市
一年一季一個所制に改正か

全滿商品見本市は一昨年開始以來年々衰微の歩調を辿り本年も既に大連、奉天を終へて目下ハルビンに開催中であるが、所期の成績を擧げ得ないので有力筋では之が實施方法の革新を主張し、一年一季一個所制とすべしと唱へられてゐる右につき久末新京輸入組合理事は語る

所期の成績を擧げ得なくなつたのは事實です、之は全滿二三個所で開催されるといふ事が商人の熱意を缺かせるものと思ふから之はどうしても一ケ年に一度一個所に集中するといふ事が最もいゝ方法だと思ふ、各地を交互に開催すれば開催地爭ひなどといふことも起きず隆盛を期待出來ると思つてゐる

正直三車夫に 賞揚金下附

A・首都乘用馬車人力車組合員東三馬路二二號車主張玉林方雇馭者王星五(三十二)は去る六日午前十一時頃西三道街中央銀行宿舍から大馬路泰發合吳服店迄一滿人婦人を乘車せしめ後で車内を見るとハンドバック中に國幣一百十八圓金腕輪時價九十圓餘のものが在中して居つたので馭者は直ちに引返し、途中車主を同伴出發地點に至り同夫人の歸宅を待つて渡した、右遺留主は中央銀行機械係に勤務する工學士紹齊氏夫人で同氏は右車主及馭者の行爲に報ずる爲め車主に十圓、馭者に五圓を贈ると共に馬車組合に至り組合職員に麥粉一袋の贈呈方を申出でたので組合では現金に換へて市公署の貧困者救濟費に寄附する事となつたB・住所南關二道河子十一道街車主劉振川方雇馭者張新泰(三二)は八月六日大平街より新發屯迄乘車せる一日本婦人のハンドバック一個を長通路警察署に屆出でた、遺留主は大平街京都客棧に住む中塚直枝氏にして中には現金四十余圓時價十五圓の萬年筆其他が在中して居つたので報勞金四圓を受けたC・住所散步關民用路九號車主杜省三方雇馭者將少英(二八)は七月二十九日午前十時頃新京自治會館附近より西公園迄乘車せる一日本人が下車して間もなく車内に十圓紙幣二枚が落ちて居るのを發見直ちに新京署に屆出でた遺留主は自治會館に住む光弘稔氏のものと判名報勞金二圓を受けた

尚右三名は本組合に呼出し其善行を賞むると共に夫々賞揚金を下附した

工事場の喧嘩 苦力大負傷

大同大街中央銀行新築工事中の大林組白井利作(二九)は十日午前六時半頃使用苦力趙會啓(二九)が出勤が遲いと叱りつけるとにやりと笑つたのが癪だと頰ぺたを一つ毆りつけたのがもとで高さ十五、六尺の工事場でとつくみ合ひを始め趙は地上に叩き落され左顎部左大腿部等に全治三週間の傷を負ひ直ちに滿鐵醫院に收容手當を加へてゐる屆出により領警署では白井を呼び出し取調べの結果前記の事實が判明事件は示談で解決することゝなつた

商店合理化 運動に乘出す

三日新京小賣業合理化委員會創立準備を開催した新京商工會議所では此程同會々則を脱稿したので近く大々的に會員を募集し商店合理化運動に積極的に乘出すことになつた

勞工協會創立者 仲田氏追悼
九日金剛寺で

滿洲國建國後の勞働界に王道主義を徹底せしめ以て徒らなる勞資爭議を排除し滿洲產業界の健全なる發達に資せんと遠大なる抱負から滿洲國勞工者の協會結成に粉骨碎身、大業半にして昨夏不幸病に斃れた滿洲國勞工協會創立者仲田幸男氏の一周忌追悼會は全滿の知己並に關係各方面の名士多數參列九日午後三時當地高野山に於て盛大に營まれたが氏の遺志をつぐ多數滿人勞工者の參列は殊に人目を惹き氏生前の多難なりし奮闘をしのばしめた

國都建設作業
本年中(七月末)までの 素晴らしい進展振り

本年解氷以來七月末までの國都建設作業は素晴しい進展振りを見せ左の如き數字を示してゐる

△道路延長 二一五・三八八米
△同 面積 二・五二二一・八四平方米
△上水道 淨月潭堰堤築造は全工程の七割五分出來上り南嶺淨水所は八割竣成した
△水道鐵管延長 一一・八三九米
△國都建設局
買收土地 八八・八一六畝
賣却土地 八・一八五・〇三三
△建築物(既成のもの)
滿洲國關係一棟廿八萬一千圓
會社關係一棟五十五萬八千圓
住宅 商店三百戸
現在工事中のもの
滿洲國關係 四棟
會社關係 三棟
特殊集合住宅 九五六戸
住宅商店 一・四三〇戸

けふの野球戰
滿洲國對四平街
午後四時十分西公園球場
後援 新京日日新聞社

きのふの暑さは 三十三度五分
二、三日は續きますと觀測所 本年度のレコード

雨期を脱してざつと旬日、七月中比較的低くかつた溫度は八月の呼び聲と共に鰻のぼりに昇つて、秋立つその日の氣配など微塵もなく、うだるが如き暑熱に煽られて水銀柱はぐん／＼と上昇するのみ、灼光は飽くなき大陸の威力を發揮して昨十日午後二時の溫度は遂に本年の最高レコード三十三度・五、華氏九十二度(三)を記錄するに至つた、人も馬も喘ぎ切つた昨一日は文字通り熱鬧地獄の一日であつた、觀測所では次の如く語つてゐる

これは本年五月三十一日の三十三度一分に次ぐ高氣溫で、昨年の最高レコード八月七日の三十三度一に比べて少し高く、それに今年は七月の月が割に涼しかつたせいか一層暑く感じられます、一番暑かつた年は大正十一年の夏で、この時は六月の二十二日に二十九度五と云ふ驚くべき高氣溫を記錄致しました、この暑さはまだ二、三日は續くでせう

西瓜 出盛る

夏の味覺は何と云つても果物から……愈々果物の季節になります今は西瓜の出盛りで新京市のみに出る西瓜だけで一日ザット三千個相場は小賣で一貫目一圓二、卅錢見當主に内地の土佐、伊豫物が斷然押へて滿洲ものは全く駄目、内地に於ては西瓜の最盛期に水害を蒙り期待した程の收穫はなくまあまあ平年作である大きいのは一個二貫六百匁が本年の最大な所で普通一貫二、三百匁です、天氣が此の調子で續けば四千個は出るものと見られてゐる

大物の來演で賑ふ 國都晩夏の演藝界
小唄、浪曲、喜劇、大歌舞伎等

滿洲の酷熱も漸く峠を越し、秋立つ日の聲を聞いたといふわけでもあるまいけれども八月に入つて文樂の人形淨瑠璃を皮切りに十一、二日の吾妻春枝一行の舞踊會、十三日は寶生流宗家の能樂大會、十六七日は小唄界の人氣者、レコードでお馴染の東海林太郎、メ香、渡邊光子の一行、さては浪曲界の人氣王酒井雲が二十六、七、八の三日間いづれも記念公會堂で大向ふを唸らせるはずである、なほこのほかに風變りな所で二十三、四の兩日は全滿新聞演藝大會、三十、三十一、九月一日と志賀廼家淡海とこれは笑ひに暑さも吹き飛ばさうといふ喜劇の王者、九月に入つてこれは未だ確定してはゐないが近いところで故中村鴈次郎の女婿中村鶴尾、市川海老十郎の合同大一座の歌舞伎がお目見得の豫定でこのところ觀劇季節に入り演劇界の大物が續々と秋の滿洲行脚に押しかけるとの報にはやくも新京の好劇家を喜ばせてゐる

鐵路總局が 文士を招請
田中貢太郎氏が十七日來京

【奉天國通】總局では筆を通じて國線沿線の事情を廣く紹介する計畫を樹て日本一流の俳人臼田亞郎、歌人佐藤惣之助、大衆文藝大家田中貢太郎の諸氏を滿洲に招請することとなつたが今回先づ田中貢太郎氏を招請するに決し氏は本月一日敦賀發北鮮經由十七日新京着三泊の上ハルビン、チチハル、北滿を廻遊二十七日來奉二泊の上錦州、山海關、承德を巡遊再度來奉大連を經て歸國する筈、その間總局員が同行導道の役に當ることになつてゐる

「小學校建設基金に 一萬五千圓寄附
居留民會より近く手交せん

新京居留民會では嚢に新京地方事務所で增設に決定した小學校二校の建設基金を寄附すべく協議中のところ此程一萬五千圓寄附に決定、不日手交する筈である

男子中等校の 設立を急ぐ市公署

着任以來次々と新事業計畫に非常なる熱意を以て努力しつゝある韓市長は國都新京として未だ滿人の男子中等學校の皆無なるを遺憾として種々奔走此が贊成を企圖しつゝありしが此度教育事業に最も熱心なる、張總理より現金五萬圓の寄附を得たので愈々新京中學校の建設に着手する事となつた目下大急で設計中にして年内には完成來年度より開校の豫定である、開校の曉は五六百人の生徒を收容し得る筈である、尙ほ敷地の候補として二、三ヶ所上げられてゐるが現國通が有力視されてゐる而して開校後の維持費は市公署側の負擔となつてゐる、開校後は此迄學費其の他の點で上級學校へ進み得なかつた滿人にとつて此の上もない幸となるもので各方面より期待されてゐる

滿洲國司法官に招聘された 四判事來連

【大連國通】滿洲國司法官として招聘された判事玉井又之亟、小黑善藏、北村久直、關臣二の四氏は十日入港のうすり丸で來連、旅大關係者に挨拶を爲した上十日任地奉天新京に向つた

性デパート 墮胎球で忌諱

市內富士町二丁目十五番地、「性ノデパート」小川賞は賣藥營業許可の下に現に性具の販賣をなしてゐるが十日新京署衞生係員が同店の臨檢をなしたところ規程の範圍を超へて注射液又は墮胎球の販賣をしてゐるので現品を押收すると共に藥品規則違反として申告された

黑龍會が 滿鮮に支部開設

內田良平氏の主宰する黑龍會はさきに同會古川誠治氏を滿鮮に派遣各地の事情を調査せしめたが針路を確實に滿洲に認めるに至り滿鮮兩地に支部を設置各民族の融和に盡力することゝなり、この目的達成のため事業部を開設產業の開發と相俟つて公共事業を行ふことゝなつた

大賣出し 千五百圓余の 景品券未引換

全滿商店聯合大賣出しの景品券引換えは十日の午後七時を以て締切つた、最後の十日は朝からけふを限りと引換えに殺到大混雜を呈したがそれでも一千五百五十一圓四十錢といふ大金が引換へられず商店協會の懷に轉げ込んだわけ、未引換の大物は二等(五百圓券)二本、三等(百圓券)二本、四等(十圓券)十一本、五等二十本といふところ

山守參事官の慰靈祭 昨日奉天で擧行

【奉天國通】殉職した奈曼旗公署參事官故山守氏の慰靈祭は十日の午後四時より橘立町祭場に於て協和會主催のもとに盛大に擧行された、關係方面の人々多數參列し五時過ぎ式を閉ぢた

憲兵司令部 新廳舍移轉
御紋章奉戴式は十四、五日頃

關東軍憲兵隊司令部並に新京憲兵隊本部は十日關東局と同一建物內の新廳舍に移轉を了した、十四、五日頃御紋章奉戴式ありたる後正式移轉となる筈

新義州飛行場 十五日まで故障

過般の安東新義州地方稀有の水害により滿洲航空會社新義州飛行場は十五日頃まで使用出來ずために新京東京聯絡飛行は新義州飛行場復舊まで平壤で日本空輸と連絡してゐる

阮文教相赴奉

阮文教部大臣は本十一日奉天で擧行される臧參議府議長令息の結婚式に參列の爲め十日午前七時發列車で奉天へ向つた

けふの野球 滿洲國對四平街

滿洲國對四平街の對抗野球戰は十一日午後四時から西公園グランドで開催される

市民水泳大會 愈々けふ

滿鐵水泳部主催の市民水泳大會は十一日午前十時から白菊町滿鐵新プールで華々しく擧行される、選手の出場はA、B、O三組で六十名に達したので劈頭の水泳大會は非常に賑ふことであろう、特にプログラム中の西瓜奪ひは興味を引き人氣を呼んでゐる

內地から最近來た人の話──どうも新京の商賣人には驚ろかされるよ中央通りの〇〇といふ本屋で雜誌の月極配達を賴んだところ「人が足りないのでなるべくお斷りしてゐるんです、遠いところは配達しませんよ」と劍もほろゝの挨拶、まるで賴むなら賣つてやると云ふ樣な態度だ聞けば滿洲では稅もかゝらぬのに送料とか云つて雜誌でも單行本でも定價より高く賣つてゐるさうだが、これぢや如何に新京商人に同情を持つてゐたつて、消費組合を應援したくもならうぢやないか、消費組合で書籍類も扱つて欲しいものだ

第一次秋季競馬 第一日成績

▲第一競馬(八頭)二、〇〇〇米1蘆谷(騎手梶原)二分五〇秒2第三夕張3雲霞(單)一四圓四〇錢(復)1四圓四〇錢2四圓九〇錢3四圓四〇錢(搖彩票)三千圓八〇錢、一〇圓二〇錢、五圓一〇錢、二圓五〇錢

▲第二競馬(五頭)二、〇〇〇米1武德(騎手梶原)二分四五秒2第四天峰3待月(單)六圓七〇錢(復)1五圓一〇錢2六圓一〇錢(搖彩票)三五圓八〇錢、八圓九〇錢

▲第三競馬(一三頭)一、八〇〇米1有田(騎手清水)二分二八秒2大江戸3青(單)1九圓一〇錢(復)1五圓九〇錢2五圓二〇錢3一一圓四〇錢(搖彩票)一三圓二〇錢、三五圓二〇錢、一七圓六〇錢、四圓四〇錢

▲第四競馬(三頭)二、〇〇〇米(一)光駒(騎手内田)二分四八秒三(二)新勝(三)等進(單)五、八〇(復)ナシ、搖八五、三〇、等外一〇六〇

▲第五競馬(十頭)一、八〇〇米(一)千代駒(騎手東郷)二分二七秒三(二)麗(三)新京雲凡(單)一四、二〇(復)五、三〇、六〇、五、四〇、搖二五〇、八〇、七一、六〇、三五、八〇、等外一二八〇

▲第六競馬(一〇頭)二、〇〇〇米(一)新杵(騎手武田)二分四三秒二(二)俊風(三)有光(單)六三、五〇(復)(一)八、〇〇(二)五、三〇(三)五、六〇、搖(一)三三六(二)九六(三)四八等外一七、一〇

第七競馬(四頭)二、二〇〇米(一)金勇(騎手甲斐)二分五五秒(二)丹生(三)劍風(單)一二、四〇(復)ナシ、搖(一)一六八、五〇等外一四

▲第八競馬(八頭)二、〇〇〇米(一)太刀風(騎手前田)二分四五秒三(二)瑞陽(三)白縫(單)四十四圓八〇錢(復)(一)七圓二〇錢(二)五圓四〇錢(三)五圓八〇錢、(搖彩票)一等四二圓一〇錢、二等一一七圓七〇錢、三等五八圓八〇錢、等外二九圓四〇錢

第九競馬(一一頭)一、八〇〇米(一)第二久慈(騎手落合)二分二五秒二(二)新河(三)川内(單)一〇圓二〇錢(復)(一)六圓四〇錢(二)九圓二〇錢(三)一〇圓一〇錢、(搖彩票)一等四七九圓三〇錢、二等一三六圓九〇錢三等六八圓四〇錢、等外二一圓四〇錢

▲第一〇競馬(九頭)二、〇〇〇米(一)英貴(騎手有吉)二分四一秒(二)林東(三)滿洲國風(單)一二圓(復)五圓七〇錢(二)六圓四〇錢(三)五圓二〇錢、搖彩票一等四九九圓五〇錢、二等一四二圓七〇錢、三等七一圓三〇錢等外二九圓七〇錢

▲第一一競馬(一二頭)二、〇〇〇米(一)三峯(騎手濱崎)二分四三秒二(二)寶洋(三)天成(單)六圓七〇錢(復)(一)五圓八〇錢(二)六圓一〇錢(三)七圓〇〇錢(搖彩票)一等五〇一圓七〇錢二等一四三圓三〇錢、三等七一圓六〇錢、等外一九圓九〇錢

鮮魚小賣相場

活鯛一二、〇—五八、小鯛六一—四〇、ニベ—一二—一〇、ヒラス四八—三六、サハラ四六、スヽキ二〇—一四、サバ二一、ヒラメ三三—二〇、ボラ—七—一六、コチ—一三、コノシロ二〇、キス六〇、イワシ—三、マナカツオ五二—二六、ムツ—八、ウナギ—一、〇—七二、ハゼ—一六、タコ二六—一八、イセエビ八五—七五、中エビ五二、カニ—一三、アナゴ二〇—一三、アワビ六〇—三三、ハマグリ四、シジミ—五—七、カマボコ—六、ヤザミ—三—七、黒カレ二六、鮎四五—二一